

# 県立海部病院移転に 向けての取組状況は

横尾 政明 議員

三月六日に中村地区町内会長を対象とした、県立海部病院移転候補地の説明会がありました。内容は、大まかな計画図を掲示しての経過報告でしたが、県立海部病院移転は町民にとって重大な関心事であり、牟岐町にしても、災害拠点施設

設としての機能を備えた県立病院が地元建設されることは重要です。地権者とは、用地買収の承諾を得られたように聞いていますが、町道との取り合いに関係する地権者とは、いまだに協議中でしょうか。病院移転に伴い、牟岐バイ

パスとの取り合い部の計画がうまくいくよう、双方の設計協議で問題が起きないように事前打ち合わせを十分することが大切です。県は病院の工事着手時期は決定しているのですか。また、説明会でこの工事に伴い排水路工事を考えているようですが、対象地権者と協議も必要です。

この事業を遅滞なく迅速にやり遂げるため、町の取り組みを伺います。

町長

移転候補地を飯泉知事へ提案



海部病院の移転用地造成の件の地権者の状況ですが、病院用地の区域については、ほぼ全員の同意を得ていると考えています。ただ、進入路の地権者も現在交渉中ではありますが、ご理解を頂いていると考えています。そして現在は、用地の測量中です。測量後には境界立会を行い、地権者を確定したいと考えています。牟岐バイパス事業と並行しますので、国との協議が重要でお互い間違いないよう、また、牟岐町には費用



海部病院移転候補地の山林

負担が少なくなるよう要望したいと考えています。埋蔵文化財は四月以降試験掘をすることになっていきます。そして、海部病院建設については、国の地域医療再生計画において施設整備を行うもので、二十五年度中に建築工事着手が期日ということです。牟岐町としては、この期日に間に合わせ造成する。また、町道、排水路整備等、周辺部分についても建築工事と並行して進めて行くのも可能と考えています。

## 編集後記

昨年の大震災で、災害時における自然の恐怖を感じ、その後において防災意識が大きく変わりました。

大地震が、津波が、洪水が、土砂流がいつ起こるか地震速報が流れるたび、また、大きな雨が降るたび、不安と心配の毎日ですが、災害時の準備、その時の行動を心掛けていれば冷静に対応できると思います。日常は安心して楽しく仕事に子育てに興味に没頭する生活にしたいものです。

明るい話題が少ないなか、三月に「千年サンゴの里」がオープンしました。町の活性化に、観光につながると思います。牟岐町が活気があり、元気な町になるように、全町民で協力し、盛り上げていきたいと思います。

広報編集委員会

お気軽に皆さんのご意見  
ご感想をお寄せください。  
電話 七二一三四二一  
FAX 七二一七七一六  
「広報編集委員会」まで  
お願いします。